



浅口市立鴨方西小学校

かもにしNOW

(文責 校長：三浦 嘉子)

R 5 . 6 . 3 0



6月最終号では、学校・PTA 合同での心配蘇生法研修会や地区懇談会の様子、3年生の工場見学の様子をご紹介します。

【心肺蘇生法研修、地区懇談会】

6月29日、教員・PTA 合同での心肺蘇生研修会を実施しました。いざという時に備えて、心臓マッサージのやり方、AEDの使い方について、鴨方消防署の方々にご指導を受けました。



続いて、小坂東・小坂西・みどりヶ丘の3地区に分かれて、PTA、民生委員・主任児童委員、教員の3者で登下校の様子、地区の危険箇所、夏休みの過ごし方などの情報共有・情報交換を行ないました。もうすぐ夏休みです。学校でも夏休みの過ごし方について、子どもたちを指導していきますが、地域の方々におかれましても、子どもたちの気になる言動などありましたら、ご指導のご協力、よろしくお願い致します。

【工場見学～かも川手延素麺工場(3年生)】

6月30日、かも川手延素麺工場を訪問し、うどんが出来るまでの流れを見学させて頂きました。見学用ののぞき窓から、うどん製造用の機械や、中で働く方々の手元の動きを熱心に見学する児童たち。見学終了後、質問の時間を頂きました。



現在、この工場では、7割がうどん、3割が素麺をつくっていること、うどんは12時間で出来上がるが、素麺には30時間も要すること、原材料は、どちらも小麦、水、塩であること、昔は、鴨方産の小麦を使用していたが、現在はオーストラリア産であることなどを教えて頂きました。「何を大切にしていますか。」「なぜ鴨方でうどんを作るのですか。」と、子どもたちの質問は、尽きません。工場の方からは、「安心安全を大切にしています。しかしそれだけでなく、おいしいと思ってもらえるうどんを提供できるよう、手延べ製法で丁寧に作っています。」や「水が綺麗で、気候がうどん作りに適しているので、鴨方で作っています。」と教えて頂きました。

今日の見学を通じて、3年生はうどん・素麺という鴨方の魅力に気づくことができました。かも川手延素麺工場の皆様、見学させて頂き、大変有難うございました。